

星稜 サ・エ・ラ

seiryô çà et là 2018 No. 48

inaokigakuen news letter



ひとりひとりが
新たなステージへ
稲置学園各設置校で学位記授与式・
卒業式・卒園式が執り行われました。

巻頭

平成30年度 新年度あいさつ

星稜高等学校 第90回記念選抜高等学校野球大会出場!

星稜教職員バトンメッセージ

星稜アレコレ

Amitié Seiryô 〜星稜の友〜

総合研究所・地域連携センターだより

星稜Information / 星稜Pick up

星稜サ・エ・ラに関する
アンケート実施中!

詳しくはP14をご覧ください

新年度あいさつ



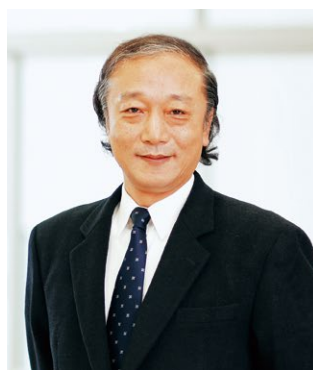
学校法人稲置学園 理事長 稲置 慎也

創立80周年を機に「星稜100年ビジョン」を発表し、その翌年度からスタートした中期計画期間の5年が経ちました。今年度からは向こう5年間の中期計画をスタートさせ、教育環境を力強く支えていくための取組を推進していきます。日本の18歳人口は、2005年には137万人でしたが、18年には118万人、31年には100万人を割り、40年には80万人台まで減少します。さらに、グローバル化や情報化の進んだ現代社会では、これまでに経験したことがないスピードと規模で変化が起きているでしょう。

このような中において、いかにして志願者を増やし優秀な入学（園）者を確保するのか。これからは、年齢や出身地域が今までは違う学生、生徒の構成に変化するかもしれません。

そのためには、革新的な方策転換が必要であり、具体的な検討を始める必要があります。一つは、教育の質の向上であり、もう一つは財政基盤の安定化です。教育システムの質の向上はもちろん教育に携わる方々の質の向上が、今後重要になってくるでしょう。また、少子化等により、授業料による安定的な財源の確保が期待できない現状の中で、多様な自己収入の財源確保と支出の抑制のために、具体的な方策を策定していきます。

最後に、学園教職員全員の理解と協力なくして、これらの目標計画は実現できません。地域社会からも信頼される、より魅力ある学園となるために、これからの5年間、10年間でより一層教職員の皆さんとの情報共有を図り、開かれた学園運営に努めてまいりたいと考えております。



金沢星稜大学 学長
金沢星稜大学女子短期大学部 学長
篠崎 尚夫

金沢星稜大学

金沢星稜大学は、「北陸文系大学の絶対王者」の道を、堂々と、着実に歩んで参ります。①「星稜大のゼミナール教育」、星稜大生は、四年間を通じ、ゼミナール機能を重視して、学問、研究、学内外の各種活動に苦楽（くるたの）しんで行きます。②「星稜大の海外教育」、長期留学から短期留学、語学研修、海外インターンシップ等々、星稜大生の多くが、何らかの形で、「海を越える教育」を受けに行きます。③「右記」ゼミナール教育、「海外教育」といった背景をもった上で、星稜大生は就職、大学院進学等々、自らの未来に向かって、現在の自分を越えて行きます。／この一連の「流れ」を、「学生」教職員「事務職」三位一体となって、つくって行きます。これまでも星稜大がやってきたことです。／但し、この「流れ」を皆で「意識」して行く、これが重要です。「想像」以上の「創造」が生れてくることでしよう。言わば、星稜大は非常に楽しみな「段階」にきている、ということ です。

金沢星稜大学女子短期大学部

星短も星稜大と同様です。「短大界の一番星」の道を行く、ということ です。①「ゼミの星短」、②「英語（海外体験）」も星短、だから強い③「就職の星短」です。／星稜大と同じキャンパス内にあるという「強み」。四年制大学並の施設・設備等を使用できることを意味します。この「強み」を最大限に活かし、他の短大では不可能なことを、これから着々と実現させて行きます。／星稜大と良い意味で競い合い、「連絡・連携」しながら、ともに外に向かって、「星稜の力」を発揮し、発信して行きます。女子短大であるが故に生じる、「あらゆる場面で、リーダーシップも、フォローアップも、100%女子学生がとることになる」という「強み」。これも、当然忘れていません。／以上のような「強み」が、新時代、「これから、いよいよ真価を発揮していく」、そういう予感で一杯です。星短でも、星稜大同様に、非常に楽しみな「段階」がやって来た、こう言えます。笑顔で感謝！。



高校 エンパワーメントプログラム



短大 簿記合宿



大学 インターナショナルデー

星稜高等学校



星稜高等学校 校長
星稜中学校 校長
鍋谷 正二

2018年、中学3年生人口の減少問題に突入しました。今だからこそ、私学「星稜」ができる教育を実践しなければならぬと考えます。本学の建学の精神を基に、生徒が誠実であり、社会に貢献できるように、德育・知育・体育の調和のとれた教育活動を行い、コースの特性を活かした文武両道の進学校を目指すことを方針としました。また、規範意識の高い学校、志を高く持つ挑戦し続ける学校、誰からも愛され必要とされる学校を目標としました。高大接続改革から様々な新しい試みが実行されていく中で「人づくり」としての星稜の教育を大切にし、星稜で「学びたい」「強くなりたい」の志に応え、生徒が自らの力で未来を創造することができるよう、教職員・地域の方々・同窓生が一体となった「チーム星稜」として生徒一人ひとりを支援します。

星稜中学校

中高一貫校として2年目のスタートを切りました。県内は勿論のこと北陸の地に星稜中学校が信頼され必要とされる学校を目指し、生徒一人ひとりが豊かな人間性を育み、夢に向かって伸び伸びと学び続ける中高一貫教育を行います。

また、世界で活躍できる人材づくりを目標に創造力、思考力、表現力の育成をはかります。この方針を基に、サイエンスプログラム、キャリアプログラム、グローバルプログラムといった特色ある教育活動を展開し、さまざまな本校独自の取り組みを実施してまいります。建学の精神を基に、一生懸命に自ら学び、自ら考え、自ら行動できる自立した、誠実にして社会に役立つ「人づくり」としての私学星稜の教育をここに実践し、面倒見の良い学校（生徒支援）No.1と成れるように教職員一同「チーム星稜」を合い言葉に、子ども達の未来のために今この時を大切にします。



星稜幼稚園 園長
島田 裕香子

幼保連携型認定こども園2年目。昨年度、新たに乳児室・調理室・ランチルームが新設され、さらに園庭には大型総合遊具が設置されました。まさに他の幼児教育施設が羨む施設を誇っています。施設の充実と共に私たちは、0歳児からの一貫した質の高い教育・保育の提供を続ける為、AI（人工知能）時代を視野に、激変する社会・予測できない社会の到来に対応できる専門知識を備え、さらに遊びを通して一人ひとりに応じた総合的な指導ができる「不易の資質能力」を身につける自己研鑽を続けていきます。

ヒトの初期設定は、「善なる人」と「仁なる人」という研究結果があり、乳幼児期にさらに「善行」と「仁行」を経験することが重要です。またこの時期に周囲の大人に深く愛され、「大切に育てられた」という思いがあることが人生を支える見えない柱となります。私たちは、子どもを愛し、豊かにかかわり、乳幼児期に大切な「非認知能力」を育み、園児の毎日が輝くよう日々精進していきます。

星稜幼稚園は、ぶれない本物の教育・保育を推進し、乳幼児教育施設の名門となり「なんとしても入りたい園」となるよう取り組んでいきます。



星稜泉野幼稚園 園長
西村 敬子

星稜泉野幼稚園は、認定こども園になり2年目になりました。4月には予定どおりの園児数で新年度を迎えることができました。

昨年度は、園庭遊びで運動能力を高めることを目的とし、園庭を整備し新しい大型遊具が設置されました。運動能力を高める体験をできる場ができ、子ども達の楽しそうな声が新しい園庭に大きく響いています。

これからの時代を考える上で、IoT、AIなどの新しい技術をどう取り入れていくのが課題になっています。園の設備や機能を、より快適なものとし、保護者の方に安心してお子さんを預けていただけるようにしていきます。

しかし、幼稚園の基本姿勢は保育にあると考えています。時代を超えても変わることはない、子ども達がお互いにふれ合うことで育まれる「人間力」を身に着けられる環境を整えていきます。

時代の変化を柔軟に受け入れ、より良い方向へと向かうとともに、子どもが成長するのに必要な「人間力」を育成する場として、園を進歩させていきます。温故知新の言葉のとおり、新しいものの、昔から受け継がれてきたものを取り入れ、子ども達とともに、園も成長していきたいと思っています。



星稜高等学校 第90回記念選抜高等学校野球大会出場!

13年ぶり
12回目

本年1月26日15時27分、高校鍋谷校長宛に一本の電話が入りました。13年ぶりとなる、春の選抜甲子園大会出場決定の連絡です。鍋谷校長は室内練習場へ向かい朗報を待つ部員達へ報告。部員達はその瞬間喜びを爆発させるかと思いきや、真剣なまなざしで校長の話を聴き入る姿が印象的でした。校長からの報告後、大勢のカメラマンからの撮影リクエストに応える頃には、ようやく喜びに溢れる表情が見てとれました。



3月12日、壮行会で在学からからの激励を受けた部員達は、3月15日に甲子園へ向け出発しました。



3月23日に阪神甲子園球場で行われた開会式では、星稜野球部伝統のキビキビとした入場行進で、試合への気持ちが高まりました。組み合わせ抽選の結果、初戦は2回戦となる3月29日。相手は宮崎県の富島高校に決まりました。初戦は初回に先制。3回表に逆転を許しましたが、その裏の攻撃で7点を挙げる猛攻。11-2という大勝をおさめ、春のセンバツで23年ぶりの白星を挙げました。3回戦の相手は滋賀県の近江高校。初回に2点、6回にも追加点を奪われるなど苦しい試合展開でしたが、6回裏に同点に追いつきました。3-3のまま延長戦にもつれ込んだ10回裏、ツーアウトから出塁の南保選手が、続く奥川選手の長打でホームイン。劇的なサヨナラ勝ちをおさめました。準々決勝の相手は、東海地区代表の三重高校。取られて取っての展開が続いた乱打戦で、8回について9-9の同点に追いつきました。しかし、9回表に5点を奪われ、最終回の攻撃を抑えられた結果、9-14で敗退。ベスト4進出はなりませんでした。この3試合では失策からの失点も多く、夏に向けての改善点が見えました。夏の甲子園で雪辱を果たすには、同じくセンバツベスト8の日本航空高校石川をはじめとする県内のライバル校に勝たなければなりません。これからの練習でのレベルアップに期待します。



星稜中学校 第9回全日本少年春季軟式野球大会出場!

2年連続
4回目

3月24日(土)、静岡県で行われたこの大会に、星稜中学校野球部が北信越代表として出場し、前回大会からの連覇に挑みました。一回戦の相手は中国地区代表である島根県の大田二中。初回に先制しましたが三回に同点、四回に勝ち越し点を奪われ、1-2で敗戦。連覇はなりませんでしたが、これから夏に向けての新たな戦いが始まります。全国の頂点目指して頑張れ!星稜中学校野球部!





金沢星稜大学女子短期大学部
辰島 裕美 准教授

自分だけの「武器」を持ってほしい

私は金沢星稜大学に2009年から非常勤講師、2014年からは専任教員として勤めており、社会人となっても役に立つITリテラシーやプレゼンテーションの方法などを教えています。星短生が学ぶ期間は2年と限られています。知識を高めるといっても「実践」を心がけており、「納期・時間厳守」を普段から徹底するのはもちろん、ただ授業で教えるのではなく、ブレゼンひとつとっても本番さながらに実際にやってみてもらい、どういうことに気をつければよいか体感してもらうようにしています。これを通して、ただ言われたことをこなすのではなく、自ら考えて行動できるビジネスウーマンになってほしいと考えています。

もともと私は高校・短大ともに星稜で、卒業後民間企業に就職し、会計担当として13年働きました。

その後自分の能力を高めたいと思い、当時急速に浸透していたWindowsについて学び、フリーのインストラクターとして星稜を始めさまざまな学校で教えることができました。おかげでいいのですが、この知識があつたからこそ、今人に教える立場になっています。学生たちには自分が誇れる「武器」を身に付けてほしいと考えています。

実践を通して知識と経験を身につけた、社会に役立てる人材をはぐくむ。

社会人を経て、建学の精神の大切さを実感

現在、母校で働かせて頂いていることを大変うれしく思います。在学中は友達と青春を謳歌することに一所懸命で、建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」も盛んに耳にしていたもののあまり意識していませんでした。その後社会に出て、組織においてこの精神がいかに大切かを実感しました。そんな根幹を教え込まれたことに、改めて感謝しています。

そして卒業生同士のネットワークにも助けてもらっており、授業でかつての同期生や、紹介して頂いた方に講師をお願いすることもあります。担当ゼミでは、同期生が校長を務める御園小学校(野々市市)で学生が授業や事務のサポート活動を行っています。この活動を通して、実践的に学ばせていただいています。またその他にもたくさんの企業やOB・OGに助けていただいております。自分の力を超えた授業を学生に提供できています。



学生とはしっかり一線をおいて、メリハリある指導を心がけています

非常勤講師時代から17年にわたる教員生活で多くの学生と関わってきました。社会では人と人の関わりが大切です。学生にはそれを学生時代から実感してもらい、誠実で社会に役立てる「人財」になってほしいと思います。私が今教えることができてるのは、星稜の建学の精神や教育方針をご理解いただいた多くのの方の支えがあったからだと思います。



御園小学校でのサポート活動は今年度からゼミ生が主体となり、目的意識を持って学校と打合せています

★ 剣道部、寒稽古で 身も心も引き締めました

2月10日(土)・11日(日)の2日間におたり、七尾市武道館にて剣道部が寒稽古を敢行しました。昨秋から取り組んできた基礎を発展させた内容を中心に、心身ともに苦しい内容でしたが、男女主将を中心に互いに鼓舞し、士気を高めながら、2018年度の更なる飛躍を誓い合いました。また、七尾市剣道連盟の先生方をはじめ、地元の高校生、小学生も参加し大いに盛り上がりました。



★ 宮崎正史先生ご退任

平成30年3月31日をもって宮崎正史先生の学長任期が満了し、退職されました。

宮崎先生は、平成10年に金沢経済大学経済学部教授として着任。平成14年の金沢星稜大学への校名変更の後、第二経済学部長、人間科学部長、副学長を歴任し、平成26年からの4年間学長を務められました。大学の第9代目の学長であり、大学創設50周年の節目の年の学長であった他、任期中に人文学部を新設するなど大学の発展に多大な足跡を残されました。

年度末には、ご自身の専門分野であるシステム科学についての最終講義が行われ、多くの学生、教職員が聴講し、講義後にはサッカー部から第9代学長にちなんで『背番号9』のユニフォームが贈られました。

また、稲友会(大学・短大部の保



護者会や、部長を務めた大学サッカー部による送別会が行われるなど、保護者や卒業生も別れを惜しみました。



★ 硬式野球部 春季キャンプ

本学硬式野球部は、この時期恒例の春季キャンプに入りました。9泊10日の行程で、まずは温暖な和歌山県みなべ町で厳しいトレーニングを重ね、関西の大学とのオープン戦で試合勘を取り戻し、4月から北陸大学野球春季リーグに挑みます。2008年に北陸大学野球を初制覇し、神宮大会で1勝をあげてから10年。努力を結果に結びつけるため、チーム全員がさらなる努力を重ねることを期待します。



★ 短 キャリア科目の集大成☆ マナーコンテストを開催！

2月26日(月)、キャリアデザイン館4階の学生ホールで「星短マナーコンテスト」が行われ、9名の学生と8名の教職員が参加しました。「社会人基礎Ⅰ」や「キャリアデザインⅡ」の講義で学んだことを活かし、社会に出てから頻出するような場面を、本番さながらのシチュエーションで体験しました。ロールプレイングの内容はお客様対応や電話応対、お茶出し、接客などの基本的な実践です。ロールプレイングは3人1組で行われ、どのチームも力を合わせていくつもの課題を達成しました。篠崎学長をはじめ、教職員も参加したロールプレイングの中で、学生たちは堂々と役を務めました。結果は学友会チームが優勝しました。



★ SJP ジャンプチャレンジ企画 成果報告会開催☆

2月26日(月)、SEIRYO JUMP PROJECT「ジャンプチャレンジ企画」の2017年度成果報告会が行われ、全9団体が発表を行いました。スライドを用いて、各団体に所属する学生たちが、2017年度1年間の活動を通してどんな力を身に付けたのか、いかに自分が一人の学生として成長できたのか、どれほど有意義な活動になったのかなどを発表しました。2018年度は新入生も加わり、「自分を超越する力をつける」活動が新たに始まります。



2017年度SJP一覧

- ①KBPP (Kids Birthday Party Project)
- ②STEP (Seiryō Tohoku Egao Project)
- ③クリーン&グリーン
- ④Nature Adventure
- ⑤世界の教室から
- ⑥SCLP (Seiryō Courtyard Lunch Project)
- ⑦つながる図書館プロジェクト
- ⑧みーたす
- ⑨Musica.

報告内容(一部)

◎世界の教室から

日本語教育を行っている海外の学校を訪問したり、金沢星稜大学の留学生を対象に日本語の授業ボランティアを行いました。慣れない環境下での生活を経て、行動力や団結力、対応力が身に付きました。今後も活動を通して国際交流を図り、個人としても団体としても「自分を超越する力」を身に付けたいです。

◎つながる図書館プロジェクト

「本を通じて人と人とのコミュニケーションの場を提供する」をテーマに、ビブリオバトルや川柳企画、流星祭特別企画を行いました。今後も、普段あまり読書をしない人に対して興味を持ってもらう「きっかけ」や、学外活動による交流を通してメンバーの見識を広める場を提供したいです。

◎Musica.

「稲置学園という大きな括りで合唱を行い、歌の良さを伝えたい。」という思いから星稜音楽祭を開催しました。「歌の良さを伝える」という当初の目標に加え、「自分から動く力」を身に付けることもできました。今後また合唱をすることがあれば今回を越える、より良い演奏を届けたいです。

★ いざ、 修学旅行へ！

12月4日(月)～8日(金)、1年Pコースが、また12月5日(火)～8日(金)の日程で1年A・Bコースが、それぞれのコースに分かれて修学旅行へ行きました。普段気軽には出

かけられない土地や場所について、事前学習を重ねながら得た情報をもとに見聞を広め、体験学習・平和学習などを通して友人たちとそれぞれの思い出を共有しました。

各コースの主な行き先は、次のとおりです。

Aコース 関東

高校1年Aコースは関東方面の修学旅行に行ってきました。国立科学博物館やルミネ等よしもと、スカイツリーにディズニースキー、3日目には鎌倉大仏、鶴岡八幡宮、三菱などとみらい技術館などさま



の思い出に、生徒たちは感銘を受けていました。

さまざまな場所を訪れ、またグループ別に大学訪問と企業訪問も行いました。中でも東京大学、ヤフー、丸紅では、本校の卒業生による対応・案内があり、より身近で、かつ身の引き締まる経験となりました。

Bコース 北九州

偶数クラスと奇数クラスに分かれ、それぞれ逆の旅程で回りました。九州では太宰府天満宮、長崎自主プラン、平和公園、原爆資料館、山口では秋芳洞を訪れました。福岡での自主プランでは柳川下りが最も人気でしたが、他にもジャパネットやキュービー、一蘭、NHK、ヤクルト、味の素などの企業訪問を行いました。

Pコース 沖縄

マングローブ地帯でのカヌーや、海岸でのバナナボート、美ら海水族館に万座毛、体験王国むら咲むらでの体験学習、おきなわワールド、ひめゆりの塔の見学や、首里城公園の散策など、普段の生活では経験できない体験や現地の人

★ 人事を尽くせ！ 激励会&終業式

12月20日(水)、全国大会出場激励会および2学期終業式を行いました。全国大会の切符を奪還したサッカー部、陸上競技部メンバーを、校長先生はじめ、同窓会会長、生徒会会長、そして生徒全員で激励しました。その後の終業式では、沖縄の方言の「まくとうそーけー」なんくるないさ(人事を尽くして天命を待つ)という言葉で受験生を激励し、2学期を締めくくりました。



★ 歓声！スノーボード実習

2月14日(水)～16日(金)、2年生Pコースが長野県の栂池高原でスノーボード実習を行いました。

生徒たちは、雪山での事故がないようインストラクターからの説明をじっくり聞き、規律を守ることの重要性を理解した後、雄大な雪原に飛び出して行きました。最初は不安定ながら、徐々に力みも取れ、大自然の中でのウィンタースポーツの楽しさを存分に味わっていました。



★ 中 冬季体育大会

12月7日(木)、冬季体育大会を実施しました。

3学年混合のチーム編成で、男子はサッカー、女子はドッジボールを行いました。天候にも恵まれ、暖かい冬の日差しを浴びながら、思い切り体を動かして楽しむことができました。また、女子はクラス対抗のバスケットボールも行い、大いに盛り上がりました。



★ 講演会

12月16日(土)、稲置

記念館講堂において、講演会を行いました。

今回は、飲食店経営の田村秀和様をお招きし、「小さな飲食店が



できる 小さなお手伝い」と題してのお話を聞きました。ご両親からお店を受け継いだ経緯や、厳しい修業時代のエピソードを通して、大きな夢を叶えるために目の前の目標を一つ一つクリアしていくことの大切さ、「誰か」のために自分に何ができるかを考える行動する素晴らしさを教えていただきました。

★ 総合学習発表会！

2月3日(土)、第16回総合学習発表会が稲置記念館講堂で開催されました。第1部では、1年生が4月から週に一度行ってきた研究活動「サイエンスプログラム」についての発表を行いました。

この活動は、1年生が12のグループに分かれ、それぞれテーマを決めて実験検証や観察などを行ってきたもので、2・3年生も興味深くその発表を聞くことができました。第2部では、2年生が学級劇を披露しました。衣装や音楽、演出など至るところに工夫が凝らされており、両クラスとも見応えのある劇となりました。



★ スキー教室

2月15日(木)、一里野温泉

スキー場において、スキー教室を行いました。午前中はレベル別のグループに分かれ、インストラクターの方々による指導を受け、午後は各自思い思いに自由滑降を楽しみました。

自分の技術の上達を実感したり、美しい雪景色の中を滑る楽しさを味わったりと、雪国ならではの充実した時間を過ごすことができました。



★ 積み上げる！レゴ研修

2月17日(土)、中学1年生がレゴ研修を行いました。前半は「中学生生活で成長した現在の私」をレゴブロックで表現し、発表しました。後半は「SDGs (Sustainable Development Goals)」

世界中の皆で目指す持続的な社会・地球環境を構築するための目標」の中から課題を決めて、「もしドラえもん」の秘密の道具でこれらの課題を解決できるなら？」をテーマにレゴブロックで表現し、発表しました。

永続的な社会・地球環境を構築するために、現在の自分ができることは何かを、一人ひとりがじっくり考えるいい機会となりました。



★ 中高 12月からの主な部活動成績

【星稜高等学校】

平成29年度石川県高等学校総合体育大会

- ・総合優秀校
- ・男子最優秀校
- ・女子優秀校

第54回石川県高等学校スキー選手権大会

- ・男子アルペン総合 ・第2位
- ・男子総合 ・第2位
- ・女子アルペン総合 ・第3位
- ・女子総合 ・第2位

第67回全国高等学校スキー大会石川県予選会

- ・男子大回転 ・第2位 山口 豪太 (全国大会出場決定)
- ・男子回転 ・第3位 田中 稀一郎 (全国大会出場決定)
- ・女子大回転 ・第2位 河端 里緒 (全国大会出場決定)
- ・女子回転 ・第2位 河端 里緒 (全国大会出場決定)

平成29年度石川県高等学校新人体育大会

第45回石川県高等学校新人スキー大会

- ・男子大回転 ・第3位 山口 豪太
- ・男子回転 ・第1位 山口 豪太
- ・男子アルペン総合 ・第2位
- ・女子回転 ・第2位 河端 里緒
- ・女子アルペン総合 ・第2位

第26回松本旗争奪石川県高等学校剣道選抜大会

- ・女子団体 ・第3位

第80回石川県耐寒継走選手権大会

- ・第2部高校A組 ・第4位 佐竹翔、梅谷、佐竹大、木下
- ・第2区 ・区間賞 梅谷 寛大

第5回北信越地区高等学校自然科学部研究発表会

- ・研究奨励賞 小西優衣香 ・月面クレーター内の衝突痕の分布による考察

第52回石川県アンサンブルコンテスト

- ・クラリネット四重奏 ・金賞
- 中村 望綾、灘地 遥、古林 優美、岡田奈津希
- 石川県代表決定 (北陸アンサンブルコンテスト)

第41回北陸アンサンブルコンテスト

- ・クラリネット四重奏 ・銀賞
- 中村 望綾、灘地 遥、古林 優美、岡田奈津希

第30回石川県高等学校ヴォーカルアンサンブルコンテスト

- A部門 (重唱部門)
- ・A-1 ・金賞 舘農、吉田、中村、中山
- ・A-2 ・金賞 鶴岡、今井、伊藤
- ・A-3 ・銅賞 永井、綿谷、金田
- ・A-4 ・銅賞 瀬川、中川、不破、東山
- B部門 (合唱部門)
- ・B-1 ・金賞

【星稜中学校】

第5回北信越中学サッカー新人選抜強化フェスティバル2017

- ・優勝



☆星稜アラカルト 「親子サイエンス教室」☆

課外活動である星稜アラカルトの1つとして、星稜高校教諭の山崎先生による「親子サイエンス教室」が開催されました。「たねをとばそう」のテーマでは、つばさを持ちグライダーのように滑空する「空とぶたね」アルソミトラ・マクロカルパの種の模型やロケットラフンを製作し、実際に飛ばしてみました。空中を不思議な動きで浮遊する様子が興味深く、何度も飛ばしてみていました。他にも「おおきなシャボン玉をつくろう」「空気砲であそぼう」「スライムをつくろう」など、好奇心をくすぐるテーマで、大人も子どもも楽しみながらサイエンスの魅力に触れる機会になりました。



☆大好き日本！伝統に触れる☆

星稜幼稚園では日本の伝統を大切にしています。寒千家・平野宗絹師範による月1回の茶道教室では、「礼節を大切にすること」「集中力」を養うことを目的に、年長児がお点前を習っています。金沢星稜大学の茶室にてお点前を披露した際には、心静かに小さな手でお茶をたてる姿に保護者も目を細めていました。また、金箔貼りも体験しました。「金銀箔工芸さくた」の職人さんの作業を見せてもらい、間近で見る職人技に思わず息をのむ様子も見られました。箔貼り体験ではとにかく真剣そのもの！出来上がった小物入れを満足そうに持ち帰りました。



☆職員講習会☆

全職員が参加して、おう吐物処理の講習会を行いました。金沢星稜大学特任教授の北川節子先生による手順や職員の分担などについての講習のあと、実際に嘔吐があった想定で実技指導を受けました。ロタウイルスやノロウイルスなど、流行期には「もちこまない」「出さない」「広げない」を心掛け衛生管理に努めています。



☆課外活動 ミュージックファクトリー☆

これまでの年長、年中児対象のサッカー、プール活動、英語に加え年少児対象の新しい課外活動が始まります。歌や身体表現、楽器あそびなどを通して音楽を楽しむ「ミュージックファクトリー」です。

星稜幼稚園職員で金沢星稜大学音楽講師の新平衣里と、同じく幼稚園職員で金沢大学大学院音楽教育コース卒、ハンガリー国立リスト音楽院に留学経験のある森舞が講師を務めます。



★**幼稚園
お茶会**★
★**将棋大会**★

1月27日(土)、親子将棋大会が開かれ約60名が参加しました。日本将棋連盟石川県支部連合会所属で子ども達から名人と呼ばれている三角憲正さんのご指導のもと、お父さん、お母さん、おじいさんとのビヨんびヨんび将棋(陣地移動)や、対局をしたり、グループ対抗まわり将棋をして楽しみました。お子さんの影響で将棋を始めたおうちの方もいらっしゃいました。おじいさんとお孫さんとの対局も見られ、周りの皆さんもほのぼのとした気持ちになりました。お孫さん相手に「負けないぞ!」と闘志満々のおじいさんもいらっしゃいました。



★**おうちの方を招いてのお茶会**★

金沢星稜大学の茶室で保護者の方を招いてのお茶会がありました。普段の茶道で習ったことを保護者の方に見ていただいた後、和菓子とお茶をふるまいました。この和菓子は子ども達が前日に藤井菓子店の方に教えていただき、心を込めて作った和菓子です。ピンク色、茶色、黄色の3色のあんこを使ったリンゴ型のかわいい上生菓子ができあがりしました。お子さんの手作りの和菓子をいただきとても嬉しかったです。畳のへりを踏まないという和室のマナーもしっかりと身につけていると保護者の方は感心されていました。最後に裏千家の家元の千宗室様より、茶道を学んだお礼としての証書をいただきました。



★**紙漉き体験**★

二俣和紙の紙漉き体験に行ってきました。紙の原料の楮(こうぞ)を触ってみて「かわしてる!」、水の中にある紙を見て「雲みたい。」と実際に触ったり、見たりして色々感じる事ができました。金沢の伝統工芸士の斎藤博さんに紙の漉き方を教えていただき、園庭で拾った葉っぱや金紙を乗せ、世界に一つだけの素敵な作品ができあがりました。卒園式には斎藤さんが漉いた二俣和紙の証書をいただきました。



北國銀行で活躍する 「星稜」の卒業生



市場金融部 市場運用課

油谷 貴史

(星稜高等学校 第42期卒)

星稜で培った「やりぬく力」で 地域の発展の一助となれるように。

星稜高校を卒業後、大学へ進学し、2011年に北國銀行に入行しました。入行して今年では7年となり、月日が過ぎるのはあっという間だとつくづく感じます。現在は市場金融部市場運用課に所属しており、外国為替業務と資産運用業務を主に担当しています。外国為替業務では、法人のお客様向けに為替予約等のサービスを提供しています。また資産運用業務においては、銀行自体の資産運用を担っており、債券や株式等への投資を通じて自行の収益拡大を図っております。当課には昨年から所属しており、まだまだ至らない点が多々あるのが実情ではあ

りますが、当行の発展ひいては地域経済の繁栄に寄与すべく日々業務に邁進しております。当課に配属となる以前は支店にて個人および法人営業を担当していました。5年間の支店勤務を経て、海外トレーダー制度に応募し、2016年より約1年間トレーダーとしてニューヨークに派遣されました。学生時代より海外で働いてみたいという思いがあり、派遣が決まった時は今まで勉強や仕事を頑張ってきた良かったと素直に感じました。

振り返ってみると星稜高校での3年間は、正直申しまして、学生生活を謳歌したというよりも受験勉強に明け暮れた日々でした。星稜高校は教育熱心な先生方が多く、特に3年間担任をしていただいた英語の西川先生には大変お世話になりました。自分と言うのもおこがましいのですが、1つのことに集中し、目標に向かってやり抜く力は間違いなく星稜高校時代に培われたものだと自負しています。

学生の皆様におかれましては、何か目標を持つて学生生活を過ごしてほしいと思います。それが必ずしも勉学のことだけでなく、一生懸命何かに取り組んだ経験はきっと人生にプラスに働いていくと私は思います。最後になりますが、星稜高校に携わっている皆様のご活躍とご健勝を祈念いたしまして結びの挨拶とさせていただきます。



一緒に守りたい、今日があります。
ともに創りたい、未来があります。

ふるさとの今日を、明日につないでいく。

地域のみなさと、未来をひらいていく。

ふるさとに暮らす人々が、

今日も、明日も笑顔で過ごすことができるように。

北國銀行は、これまでもこれからも

地域とともに歩む銀行であり続けます。

『親業』支援コラム

ナタの力オミ

観光の潮流と可能性



川澄厚志 准教授
(金沢星稜大学経済学部)



はなは

最近、「家族で過ごす時間やご家庭で会話する時間の確保はできていますか。」

現代における私たちの都市での生活は、革新的な技術により日々進化し、人類は便利な生活を手に入れたといえます。地方から都市への人口流入は、あらゆる経済活動をはじめ、そうした便利なモノやサービスを手に入れるために生じてきたと考えられます。しかしながら、そうした便利な生活を手に入れるためにはお金が必要となり、都市で生活する核家族や共働き世帯が増えているのではないのでしょうか。こうした場合、ご家庭において夫婦や親子間での日常会話の頻度や会話内容に満足していますか。日常会話をする時間の確保がうまくいっているとしても、夫婦間での会話内容は、子どもの学業のことや家計のことが中心になってはいませんか。そこで本コラムでは、時間的な余裕と経済的な余裕がなく、日常生活においてご家族の会話が減った、満足していないという方のために、観光の潮流を整理し、観光の可能性について紹介したいと思います。

観光の潮流と観光の可能性

まず、身近な観光動向を参考に、観光の可能性とは何かを考えていきたいと思います。

金沢市経済局営業戦略部観光政策課が実施した金沢市観光調査結果は(2011年8月、

2016年9月22日～10月23日及び11月19日～12月18日のそれぞれの1か月間の毎週土日に実施)、「金沢市観光調査結果報告書 平成28年(2016)」としてまとめられています。その中で、特記すべき点として、観光者が金沢に期待していたことは、「食・味覚」72.2%、「史跡・名所等」50.6%、「街並み」47.6%、「文化(伝統工芸・芸能・美術等)」31.1%であり、観光者が金沢へ期待していたことと金沢で満足したことを比較すると、「街並み」「自然風景」「宿泊」「史跡・名所等」では満足が期待を若干下回り、「文化」では9.5ポイント下回ったことに留意する必要があることが示されています。この結果がもたらす意味は何でしょうか。

わが国の観光動向の歴史の変遷についてみると、「団体旅行」から「個人旅行」へとといった旅行形態の変化により、観光者のニーズが多様化し、観光産業の従事者や観光研究に従事する研究者たちなどに交流目的も含んだ観光が認知されるようになりました。宿泊業者の中でも特にウィンタリリゾートや温泉地などで旅館業を営む方々は、こうした観光者のニーズに対応するべく、ハードの見直しや経営方針の変革などを求められました。また、近年では観光政策の大きな転換がありました。それは「発地型観光」から「着地型観光」といった観光プロセスにおける主体の変化

をみてわかるように、日本政府により2007年に「ユーストリズム政策」が観光立国推進基本法及び基本計画で打ち出されたことから、地域の観光振興を本格的に考えることができるようになりました。地域の観光振興では、地域特有の資源を活かし、既存のストックを活かすまちづくりの展開が見受けられます。それは、大規模なリゾート開発にみる観光振興ではなく、地域の人・地域資源・伝統文化などを創造的に活用していくオルタナティブな観光振興といえるでしょう。

『金沢市観光調査結果報告書 平成28年(2016)』の中で指摘された上記については、歴史文化を含む地域特性から考えられる「金沢らしさ」を表層部のみならず深層部まで説明を受けたいという願望が観光者から求められているように思います。こうした多様な観光者のニーズに対応するためには、「金沢を良く知らなければ観光者のニーズに対応するのが難しいことが考えられます。」

さて、「はじめに」で述べた問題意識に戻りたいと思います。観光の可能性について、外から訪れた人と話をすれば、自分が住んでいる地域に誇りを持つきっかけになります。地域資源の新たな発見にもつながる可能性があります。観光で新たな土地を訪れて創造的に物事を考えるためには、出会った人々が互いに交流することによって、それぞれの国や民族の社会、文化、習慣、物事の考え方

などについてお互いの理解を深めていくことができます。また、ユーストリズム研究会(2012)によれば、わが国は世界で稀にみる観光資源大国であり、また教育水準も世界最高レベルであることが示されています。加えて、1967年に国連によって定められた「国際観光年」の標語である「観光は世界平和へのパスポート(Tourism Passport to Peace)」の通り、わが国は武力を放棄した世界で唯一の国家です。つまり、観光は平和の象徴として考えられます。

もし、時間的・経済的な余裕がなく、日常生活においてご家族の会話が減った、満足していないという方は、観光(交流を通して得られる他者理解について、日常生活を少し離れてゆったりとした時間を「ご家族で過ごす」みてはいかがでしょうか。現在の旅行商品は様々であり、多様な観光者のニーズや観光目的に合ったものを必ず見つけることができるでしょう。

【参考文献】

- ・金沢市経済局営業戦略部観光政策課(2016)『金沢市観光調査結果報告書 平成28年(2016)』
- ・ユーストリズム研究会(2012)『ユーストリズム読本』新しく考える地域の観光振興、友月書房

総合研究所・ 地域連携センター だより

地域連携
のと共栄信用金庫
インターシップに
参加しました！

COCプラス事業「共創インターシップ」

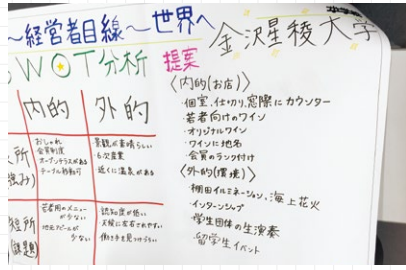
金沢大学が中心となり、本学をはじめ地元8大学が連携し、大学生の地元定着率向上を目的とした、COC+（シー・オー・シープラス）事業が昨年度よりスタートしました。
その一環として、各大学と県内事業所が連携して実施する「共創インターシップ」において、のと共栄信用金庫と本学との連携によりインターシップ事業を実施しています。

今年度インターシップに参加した学生からのコメント 経済学部経済学科3年次 小倉 達也

インターシップに参加したきっかけは、2年次のゼミ活動で、のと共栄信用金庫が地域に貢献するための活動を積極的に行っているという話を聞く機会があり、地域社会について興味があったからです。

今回のインターシップでは、のと共栄信用金庫が創業の支援をした企業について、その店舗（レストラン）の魅力をアップさせ、集客向上を図るための案を考え発表させていただきました。

現在営業している店舗について、SWOT分析の手法を用いて良いところや課題を細かく分析し土地柄などの要因を考慮した上で改善点を考えるという機会はとても貴重な経験であり、今後社会に出て働くにあたり役に立つ経験だと思いました。そして地域創生を考えるうえで私たち学生などの若い人の意見はとても重要だと感じたので、今後もしこういった機会があれば、積極的に話していきたいと思いました。



星 稜 INFORMATION

稲置学園星稜基金 スポーツ・文化等課外活動支援の給付者 平成29年10月～平成30年3月までの給付者

所属	個人・団体	区分	クラブ名	氏名
高校	スポーツ	団体	野球部	
高校	スポーツ	個人	スキー部	河端 里緒
高校	スポーツ	個人	スキー部	山口 豪太
高校	スポーツ	個人	スキー部	田中 稀一郎
高校	スポーツ	個人	ゴルフ部	辻 圭一郎
高校・大学	スポーツ	団体	トランポリン部（星稜クラブ・女子）	

所属	個人・団体	区分	クラブ名	氏名
大学	スポーツ	団体	剣道部（女子）	
大学	スポーツ	団体	ハンドボール部（女子）	
大学	スポーツ	団体	トランポリン部（男子）	
大学	スポーツ	個人	トランポリン部	宮野 冬馬
大学	スポーツ	個人	トランポリン部	安藤 諒



3月3日(土)、高校サッカー部OB・OG会の主催による創部50周年記念式典・祝賀会が行われ、歴代の監督が表彰されるなど盛況となりました。OB・OG会の西村隆幸会長(高校11期・サッカー部7期)の式辞では、黎明期の苦労や全国制覇までのエピソードが盛り込まれ、稲置理事長・鍋谷校長も祝辞を述べました。

OBでありメキシコで活躍する本田圭佑選手からは、『全国でサプライズを起こす存在ではなく、常勝するチームにならないといけない』との激励を込めたビデオレターも放映されました。

現監督の河崎護先生による決意表明により、会場のOB・OGが今度ますますの現役支援を心に刻んだ会となりました。



会の模様は、星稜高校サッカー部OB・OG会のホームページで紹介されています。



2018年度のエクステンション講座ガイドが完成しました!

資格取得支援として開講し、年間のべ約1,500名が利用しているエクステンション講座。2018年度も約60の講座をラインナップし、スキルアップ、キャリアアップを支援します。

●2018年度 新規開講講座

【IT活用入門コース】

最近増加している、スマートフォンには慣れていてもキーボードが苦手な方向けに、入門講座を新設しました。

【ビジネス実務法務検定3級コース】

法律系資格の入門として、宅建士へのステップにも。

【医師事務作業補助コース】

医師の負担軽減を目的として、医療文書作成代行などを行う新しい職種です。

【SPI (非言語) 対策講座】

新卒採用試験でよく使用されるSPI試験の中で、苦手とする方が多い数学関係分野の問題への対処の仕方を説明します。

●2018年度 マイナーチェンジ講座

【ITパスポートコース】

これまでWeb通信講座で提供していましたが、専門講師によるライブ講義としました。



星稜サ・エ・ラに関するアンケートへのご協力をお願い

締切 5/31

いつも『星稜サ・エ・ラ』をご愛読いただき、誠にありがとうございます。毎号の内容に関する皆様からのご意見を「Webアンケートフォーム」を通じて頂戴し、本誌の内容改善に努めてまいります。ご協力いただいた方の中から、抽選で20名様にQUOカード(500円分)をプレゼントいたします。右記QRコードから、アンケートへの回答をお願いいたします。



抽選で20名様に
QUOカードをプレゼント!

行事スケジュール (4月～6月)

金沢星稜大学

4	3日(火)	入学式
	4日(水)・5日(木)	新入生ガイダンス
	6日(金)・7日(土)	新入生宿泊研修
	9日(月)	新入生CDPコース別説明会
	10日(火)	授業開始
	14日(土)	新入生歓迎祭
5	28日(土)～5月6日(日)	GW休講期間
	1日(火)	休講(7/16授業分)
	2日(水)	休講(9/24授業分)
	12日(土)・26日(土)	補講日
6	9日(土)・23日(土)	補講日

金沢星稜大学女子短期大学部

4	3日(火)	入学式
	4日(水)～6日(金)	新入生ガイダンス
	9日(月)	新入生CDPコース別説明会
	10日(火)	授業開始
	21日(土)	新入生歓迎祭
	28日(土)～5月6日(日)	GW休講期間
5	1日(火)	休講(7/16授業分)
	2日(水)	休講(9/24授業分)
	12日(土)・26日(土)	補講日
	9日(土)・23日(土)	補講日

星稜高等学校

4	7日(土)	始業式、自転車安全教室(2・3年)
	9日(月)	入学式
	10日(火)	1年研修会、自転車安全教室(1年)
	16日(月)・17日(火)	内科検診
	20日(金)	内科検診、模擬投票(3年)
	21日(土)	身体計測
5	24日(火)	遠足
	14日(月)～17日(木)	中間試験
	17日(木)	総体・総文激励会
	19日(土)	PTA総会、保護者対象講演会 3年学級懇談会、1年Aコース懇談会
	25日(金)	避難訓練
	26日(土)	吹奏楽部定期演奏会
6	4日(月)・5日(火)・7日(木)	歯科検診
	22日(金)	模擬投票(2年)
	30日(土)	期末試験(7/2～4)、1年保護者対象説明会

星稜中学校

4	7日(土)	始業式
	9日(月)	入学式
	11日(水)	1年研修会、交通安全教室、自転車通学説明会
	12日(木)	1年研修会
	21日(土)	身体計測
	24日(火)	遠足
5	14日(月)・15日(火)	中間試験
	15日(火)	3年進路説明会
	31日(木)	スポーツテスト測定
6	1日(金)・2日(土)	写生大会
	15日(金)	県体激励会

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

4	6日(金)	始業式
	7日(土)	入園式
	11日(水)	玉川こども図書館出張保育
	17日(火)	プール開き
	18日(水)	星稜子育てステーション(0歳)
	19日(木)	星稜子育てステーション(1歳)
	20日(金)	星稜子育てステーション(2歳)
	24日(火)	避難訓練
	26日(木)	茶道体験
	27日(金)	誕生会参観
5	1日(火)	ABCランド
	2日(水)	こどもの日の集い
	12日(土)	保護者会総会
	15日(火)	避難訓練
	16日(水)	年少バス遠足、星稜子育てステーション(0歳)
	17日(木)	星稜子育てステーション(1歳)
	18日(金)	星稜子育てステーション(2歳)
6	24日(木)	茶道体験
	25日(金)	誕生会参観
	5日(火)	ABCランド
	12日(火)	避難訓練
	13日(水)	星稜子育てステーション(0歳)
	14日(木)	星稜子育てステーション(1歳)
	15日(金)	星稜子育てステーション(2歳)
	21日(木)	誕生会参観
	28日(木)	茶道体験

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

4	6日(金)	始業式
	7日(土)	入園式
	26日(木)	誕生会参観・保育参加
	27日(金)	避難訓練
	8日(火)	レッツスポーツ
5	10日(木)	保護者会総会
	15日(火)	ABCランド
	17日(木)	太鼓
	18日(金)	学年懇談会(年長)
	21日(月)	リトミック
	24日(木)	太鼓
	28日(月)	避難訓練
	29日(火)	親子バス遠足(年長)
	31日(木)	誕生会参観・保育参加
6	5日(火)	レッツスポーツ
	7日(木)	親子バス遠足(年中)
	11日(月)	リトミック
	14日(木)	避難訓練
	18日(月)	学年懇談会(年中)
	26日(火)	ABCランド
	28日(木)	太鼓
	29日(金)	誕生会参観・保育参加

あとかぎ

暖かい春の季節となりました。2017年3月に各設置校から卒業、卒園をした学生、生徒、園児の皆さんは新たな生活の始まりを迎えていることと思います。稲置学園で過ごした日々の中の学びや経験が、皆さんそれぞれの一歩二歩となり活かされること心より応援しています。2018年4月各設置校において新入生を迎えられたことは、教職員一同嬉しく思っております。

金沢星稜大学 金沢星稜大学女子短期大学部 広報課 北澤 詠美子

Since 1932

星稜

誠実にして社会に役立つ人間の育成

学校法人 稲置学園

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部

石川県金沢市御所町10番地1
TEL 076-253-3924 (代表)
(大 学) http://www.seiryu-u.ac.jp/u/
(短大部) http://www.seiryu-u.ac.jp/c/

星稜高等学校・星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206番地
TEL 076-252-2237 (代表)
http://www.seiryu-hs.jp

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

石川県金沢市御所町寅27番地
TEL 076-252-5057 (代表)
http://kinder.seiryu.jp/seiryu/

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

石川県金沢市泉野町6丁目17番30号
TEL 076-244-5636 (代表)
http://kinder.seiryu.jp/izumino/